

セーリング競技レーザ級選手

せ がわ かず まさ
瀬川 和正さん

2014(平成26)年11月、境港で開催されたレーザ級全日本選手権に個人出場。鳥取県セーリング連盟から誘われ、大阪府堺市から境港市へ移住。16年11月に日本セーリング連盟ナショナルチーム代表入り。境港で今夏開催されるレーザ級世界選手権大会に出場する。



マルタ共和国で練習に励む瀬川さん (写真提供=瀬川さん)

いつからセーリングを

始めたのは大学時代。小学生の頃の水泳経験が、水に近い競技を選ばせたように思います。現在、世界のトップ選手が在籍するクロアチア共和国の「JKモルナルインターナショナルセーリングレーザチーム」に所属。1年の半分以上を海外で過ごし、合宿や国際大会参加を重ね、腕を磨いています。

レーザ級(1人乗り)について

海面上に指定されたコースを回り、着順を競うセーリング。数ある種目のうち、ヨットを比較的安価で入手できるレーザ級は、老若男女楽しめ、競技人口も多いです。長さ4.23^{メートル}の帆ヨット50~60艇が水上を一斉に帆走するため、かなりの混戦。制するには、操縦の技術や体力、瞬発力、忍耐などが求め

技を突き詰め、風つかむ

~境港で目指す世界のトップ~

られ、中でもスタートの技術が大事。そこでは全選手が「風を取り合い」ます。

競技の魅力は

刻々と変わる波や風に対処する精度を高めて、挑む面白さですね。全ての要素をパーフェクトにできることは少ないですが、それだけに究める醍醐味があります。

大会への思いを

セーリングに良い風良い波が来る美保湾は、他の開催地にも勝る環境がそろっています。世界選手権までに実績を積み、自信をつけて臨みたい。世界のトップ10を目指します。



指の関節の太さが、ロープさばきの過酷さを物語る



ウエットスーツの太もも裏側は、激しい練習で擦り切れている

2019レーザ級世界選手権大会
 日 6月26日(水)~7月24日(水)
 所 境港公共マリナー、美保湾海上